

静岡県の 学校図書館

令和8年10月発行

発行：静岡県総合教育センター

総務企画課 企画・生涯学習班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-soumuict@pref.shizuoka.lg.jp

研修 報告

授業で生かす情報活用能力を育む学校図書館活用研修

令和8年8月21日(金)、「授業で生かす情報活用能力を育む学校図書館活用研修」を開催しました。今回は、会場での受講とオンラインによる受講を組み合わせたハイブリッド形式で行いました。

【実践発表】

数学の授業における学校図書館活用

静岡大学教育学部附属静岡中学校

教諭 齋藤 慶一 氏

はじめに、齋藤教諭から、「数学の授業における学校図書館活用」をテーマに、実践発表をしていただきました。学習指導要領における学校図書館の位置付けの変化や先行研究を踏まえ、数学科の授業で学校図書館を活用した実践を紹介。学校司書や市立図書館と連携し、数学に関する図書を用意して、生徒が図書から情報を集めたり、データを調べたりしながら学習を進める取組が紹介されました。

「箱ひげ図とデータの活用」の実践では、テーマを決め、図書から必要なデータを探し、ICTを活用して整理・分析し、発表する学習が行われました。数学の学習内容と図書やICTを組み合わせ、生徒の「なぜ?」「知りたい!」を学習につなげる工夫が紹介されました。学校図書館は国語や社会科では活用しやすい一方、数学では難しいと感じることもありますが、今回の実践は、教科の特性に応じて視点を

変えることで、さまざまな教科の学習に生かせることを示すものでした。受講者からも、「数学でも学校図書館を活用できることが分かった」「自分の担当教科でも活用してみたい」といった声が寄せられました。

【講義・演習】

授業で生かす情報活用能力を育む学校図書館活用

大妻女子大学 教職総合支援センター

常勤特任准教授 有山 裕美子 氏

続いて、有山先生から、次期学習指導要領の改訂を見据え、探究的な学びや情報活用能力の育成に学校図書館が果たす役割について、講義と演習を行っていただきました。デジタルアーカイブや電子書籍、バリアフリー資料、生成 AI など、さまざまな情報源やツールが紹介されました。

また、生成 AI を使ってフェイクニュースを作る活動や、NotebookLM などの ICT ツールを実際に操作するワークショップも行いました。情報の信頼性や活用の仕方について考えながら、さまざまなツールを体験しました。教師と学校図書館の専門職が協働することで、探究的な学びを支えることができるというお話もありました。

研修の最後には、学んだことを自校での実践につなげるため、グループで振り返りを行いました。「紙の資料とデジタル情報を目的に応じて使い分けたい」「学校図書館を情報活用能力を育む場として、授業の中でも活用していきたい」など、今後の実践につながる意見が交わされました。

今回の研修は、学校図書館を「本を読む場所」だけでなく、子どもたちがさまざまな情報と出会い、必要な情報を選び、活用する力を身に付ける場として捉え直す機会となりました。



講座案内

令和8年度静岡県図書館大会が開催されます

静岡県では、読書活動の一層の推進を目指し、参加者相互の交流を深めることを目的に、図書館大会を開催しています。今年度の大会の概要は次のとおりです。その他詳細は、下のURL または二次元コードより「静岡県図書館大会」ウェブサイトをご覧ください。

【開催日】令和8年12月7日(月)

【会場】グランシップ

【申し込み】先着順

10月1日(木)～10月30日(金)

ふじのくに電子申請サービスで申し込み

【参加費】無料

【問い合わせ先】静岡県立中央図書館企画振興課

【電話番号】054-262-1246

URL:<https://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/toshokantaikai/index.html>



子どもの読書や学校図書館に関する分科会

■第3分科会:子どもの読書活動

「いのち 絵本」

講師:田島 征三氏(絵本作家、美術家)

■第4分科会:学校図書館

「読書の楽しみを手渡そう～ブックトークの実践より～」

講師:林 良子氏(しまねブックトーク研究会代表)

持ち物:静岡県読書ガイドブック「本とともに」小学生版(中学年向け・もっとよみたいみなさんへ)、中学生版から紹介したい本1～2冊。対象学年(小3～中3)を決め、3分程度で紹介できるようご準備ください。

・静岡県読書ガイドブック

「本とともに」

URL:<https://x.gd/Q3P83>



学校図書館情報

本が水に濡れてしまったら

大雨による浸水や雨漏りだけでなく、突然の雨で借りた本を入れたバッグごと濡れたり、読んでいるときに飲み物をこぼしたりと、本の濡れてしまう場面は日常でも起こります。濡れた資料は、できるだけ早く対応することが大切です。表面の水分をタオルなどで軽く押さえ、資料の状態に応じて吸水紙を使うなどして乾かします。ドライヤーなどで急激に乾かしたり、貼り付いたページを無理にはがしたりするのは避けましょう。大量の資料が濡れた場合などは、専門機関の情報を確認しましょう。

■水濡れ資料の対応を詳しく知りたい

国立国会図書館 「資料防災」	
東京都立図書館 「災害対策」	

■被災したときの支援を知りたい

全国学校図書館協議会 「災害によって被災した学校図書館への支援」	
日本図書館協会 「災害等により被災した図書館等への助成」	

講座案内

国立国会図書館国際子ども図書館 児童文学連続講座【オンライン】

国際子ども図書館では、児童サービスに携わる図書館員等を対象に「児童文学連続講座」を開催しています。今年度のテーマは「絵本と体験」。11月9・10日の2日間、絵本と子どもの発達、ファンタジー体験、バリアフリー絵本、絵本と体験・記憶などについて学びます。オンラインで受講でき、参加費は無料です。終了後、講義動画の配信も予定されています。

また、過去の講座の講義録(PDF)も公開されています。児童文学や読書について学ぶ資料としてこちらも活用することができます。

関心のある方は参考にしてみてください。

【総合テーマ】「絵本と体験」

【形式】オンライン同時配信(Microsoft Teams)

【日程】令和8年11月9日(月)、10日(火)

【参加費】無料

【申込受付期間】令和8年10月20日(火)まで

【問い合わせ先】国立国会図書館国際子ども図書館
企画協力課協力係

URL:<https://www.kodomo.go.jp/study/chair>

